

平成 23 年度

京都景観エリアマネジメント講座

基礎講座 受講の手引き

1. はじめに
2. 基礎講座の概要
3. お申込みについて
4. 受講について
5. 基礎講座日程表

京都景観フォーラム (NPO 申請中)

1. はじめに

「京都景観フォーラム」は、市民の景観に対する意識を深め、市民が主体となって景観まちづくりを進めていくことを目標に、「京都市未来まちづくり 100 人委員会」（平成 20 年 9 月設立）の「市民の景観チーム」を母体として活動を開始しました。

京都市は 50 年後、100 年後の歴史都市京都に相応しい景観の保全と創造をめざして、景観法にもとづく「新しい景観政策」を平成 19 年 9 月に施行しました。

制定当時は、市民には不満や戸惑いもあり、景観に関する制度の問題も含め、多くの課題が山積していました。現在でも、まだ景観に対する理解は充分とは言えず、市民主体で景観まちづくりを進めていく方法も、手探りの状態です。

地域で「景観まちづくり」を進める際には、地域の歴史や文化、地域の商いや経済の状況、人々の暮らし方など、地域固有の情報を読み取り、住民が共有する価値観を現実の景観に結実させていくことが必要です。そこには、幅広い知識を有する多様な分野の専門家の手助けが必要だと考えています。さらに平成 23 年 4 月に景観政策の進化を目指して地域の景観づくりに関する仕組みとして創設された「地域景観づくり協議会」の制度を広く活用していくためにも、市民とともに景観づくりを推進していく専門家が求められます。

京都景観フォーラムでは、こうした専門家の養成を目指して「京都景観エリアマネジメント講座」を開催します。

2. 基礎講座の概要

【目 的】

本講座は、まちづくりに関わる様々な分野の専門家を対象に、京都の景観とまちづくりに対する幅広い知識と高い見識を持つ専門家を養成することを目的としています。

【受講対象者】

・景観まちづくりに関連する専門的な職（※）につく者を対象とします。

（※建築、土木、造園、ランドスケープ、都市計画、行政、コンサルタント、法律、歴史、広告、デザインなどの専門職）

【講座の構成】

- ・ 講座は、講義による基礎講座（1年目）と実践・研究を行う実践講座（2年目）の2段階で構成しています。
 - ・ 基礎講座は、京都の景観まちづくりに必要と思われる多様な分野の専門的な知識を身につけることを目指しています。（9月開始、翌年5月修了。講座：全8回）
 - ・ 実践講座は、基礎講座を修了した人の中から、さらに地域での景観まちづくりの支援やコーディネートスキルを身につけるために、実際に地域で活動を経験します。（6月開始、翌年5月修了）
- 2年間の講座を修了した者は、京都景観フォーラムに登録し、各分野のネットワークを活かして、地域の要望に応じて景観まちづくりに取り組むようにします。

【基礎講座の修了】

- ・ 基礎講座は、全8回を受講したものを修了とみなします。
- ・ 基礎講座を過半数（5回）以上受講した者は、実践講座に進むことができます。ただし、欠席した講座は、次年度に受講することができます。
- ・ 昨年度は、トライアルとして協力専門家有志40名とその他数名の希望者が基礎講座を受講し、その内18名が修了（全回出席）となりました。2年次の実践講座へは27名が進んでいます。
- ・ 平成24年5月19日（土）に、8回の講座とは別に、基礎講座の修了式を予定しています。こちらでは、基礎講座修了者への修了証の授与、実践講座の成果発表、受講生の交流企画などを予定しております。こちらもご参加ください。参加費は無料です。

※京都景観フォーラムは、修了者には京都景観エリアマネージャーなどの称号の授与も検討しています。さらに、京都市や(財)京都市景観・まちづくりセンターなどと連携をとって、地域支援の仕組みづくりにも取り組んでいます。

【基礎講座の実施体制について】

- ・ 本講座は、京都景観フォーラム（NPO申請中）の主催事業であり、当フォーラム内に設置された、景観エリアマネジメント講座実行委員会が事務局を担っています。
- ・ また、(財)京都市景観・まちづくりセンターと共催、京都市の後援で実施しています。

3. お申込みについて

【お申込み】

・お申込みは以下へ、メールもしくはFAXにて、お申込みください。事務局から受付確認のメール等をお送りします。

※お申込みフォームは、基礎講座の募集パンフレットに添えられています。

また、京都景観フォーラムのサイトよりダウンロードできます。

京都景観フォーラムオフィシャルサイト <http://kyotokeikan.org/>

(お申込み先)

京都景観フォーラム
e-mail kyotokeikanforum@yahoo.co.jp
FAX 075-491-9663

(お申込み内容)

①タイトル (京都景観エリアマネジメント講座受講申込みと記載して下さい。)
②氏名・フリガナ
③生年月日
④住所・TEL・FAX・e-mail
⑤勤務先・TEL・FAX・e-mail
⑥所属団体・専門分野
⑦資格 (お持ちでしたらご記入ください)

【募集人員】

40名 (先着順)

【受講料】

・受講料 30,000円

・受講料は、受講をお申込みいただいた後に、下記の講座に、平成23年9月30日までに
お振込みください。

(振込先)

京都銀行 紫野支店 (キョウトギンコウ ムラサキノシテン)
普通口座 3235616
口座名義 京都景観フォーラム 代表者 内藤郁子
(キョウトケイカンフォーラム ダイヒョウシャ ナイトウイクコ)
電話番号

4. 受講について

【会場】

(財)京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム

〒600-8127

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町
83 番地の1 (河原町五条下る東側)

ひと・まち交流館 京都地下1階

TEL : 075-354-8701 FAX : 075-354-8704

【バス】

市バス 4, 17, 205 号系統「河原町正面」下車

【電車】

京阪電車「清水五条」下車 徒歩 8 分

地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩 10 分

【車】

立体駐車場 最初の 1 時間 400 円、以後 30 分ごとに 200 円

(駐車に時間がかかる場合があります。)



【受付】

会場入り口付近の受付にて、各回ごとに受講の確認を行ってください。

【講座の時間】

(原則) 13:30~17:30 (~18:00)

※ 講座終了後、会場近傍にて懇親会を開催します。講師の先生方も可能な限りお誘いしています。よろしければご参加ください。

4. 基礎講座日程表

(2011/08/30 現在)

日程	科目	講師	内容
2011/9/17 (土)	基礎理論	堀 繁氏 (東京大学大学院教授)	景観とは何か、なぜ景観は重要なのか？
			良い景観とはどういうことか、 景観を良くするにはどうしたらよいのか
2011/10/15 (土)	京都のまちの歴史 景観史	高橋 康夫氏 (花園大学教授)	都市・京都の成立～前近代
		中川 理氏 (京都工芸繊維大学大学院教授)	京都の近代化と都市景観の移り変わり
2011/11/19 (土)	景観デザイン	篠原 修氏 (GSデザイン会議事務局)	インフラのデザインとコラボレーションして形成 されていく景観
		岸 和郎氏 (建築家)	歴史都市における建築デザイン
2011/12/10 (土)	京の美意識 京町家と華道	梶山 秀一郎氏 (京町家作事組理事長)	京町家が伝えるもの、暮らし・大工の知恵
		尾崎 真理氏 (株オズカラースタジオ)	(仮)色彩における伝統的美意識と風土色
		笹岡 隆甫氏 (華道家)	伝統文化から受け継ぐ美意識
2012/1/21 (土)	景観と コミュニティ形成	山口 洋典氏(應典院主幹) (上町台地からまちを考える会事務局長)	コミュニティ・デザインから始まる地域まちづく り
		高田 光雄氏 (京都大学大学院教授)	まちなかにおける景観形成と地域コミュニティ
2012/2/25 (土)	景観政策と法律	岡田 圭司氏 (京都市都市計画 局都市景観部係長)	京都の景観保全の歴史と景観政策の動向
		飯田 昭氏 (弁護士)	景観の開発・環境・景観・まちづくり 紛争の 25年
		石田 光廣氏 (司法書士)	予防法務が町を救う！～まちの景観とコミュ ニティーを破壊する相続の実態と対策～
2012/3/24 (土)	京の作法 造園と茶道	尼崎 正博氏 (京都造形芸術大学教授)	京都における造園の歴史と京都の庭
		(茶道家)	京都の文化 作法とおもてなしの心
2012/4/21 (土)	景観まちづくりと 地域での事例	門内 輝行氏 (京都大学大学院教授)	これからの京都における景観まちづくり総括 —修徳学区を事例として—
		荒川 晃嗣氏 (修徳学区 まちづくり委員会委員長)	地域住民(自治組織)と景観まちづくりの関わり
2012/5/19 (土)	修了式	成果発表会	

京都景観フォーラム（NPO申請中）

TEL 090-2012-5898

FAX 075-491-9663

e-mail kyotokeikanforum@yahoo.co.jp

<http://kyotokeikan.org/>



KYOTO KEIKAN FORUM